



乳の社会文化ネットワーク
乳の学術連合

2020年度「乳の学術連合」学術研究

「乳の社会文化」 学術研究の公募

「乳の社会文化ネットワーク」は、
一般社団法人 Jミルクと共同して、
「乳」に係る社会的・文化的な学術研究を公募します。

申請締切日
2019.12.31 Tuesday



募集研究テーマ

特定研究
テーマ

1 牛乳乳製品の価値創造

牛乳乳製品の価値創造に通じる研究。例えば、コミュニケーション革新、ブランディング、地域循環型フードシステム、バリューチェーンに関する研究など。

2 牛乳乳製品の食生活への受容

牛乳乳製品の食生活への受容の歴史、受容の現状と課題、「美味しさ」の感情や記憶の創出に関する日本及びアジア諸国をフィールドとした研究など。

3 次世代酪農の可能性

酪農の持続可能性を探るための社会的・文化的な研究。例えば、酪農生産、フードチェーン、制度・政策、評価手法に関する研究など。

4 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成への日本酪農の貢献

SDGsの達成に向けて、日本の酪農乳業が取り組むべき課題、飼料自給率の向上や環境負荷の低減、地域循環型フードシステムなどの持続可能性を高める課題に関する研究など。

一般研究
テーマ

5 乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究

牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史及び社会経済的な意義に関する研究など。

注)「牛乳」もしくは「乳」とは、食品としての牛乳乳製品を意味する。(「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む)

上記テーマへの申請のうち8件程度を採用します。

募集要項

応募資格 国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で研究を行う研究者等(大学院生を含む)、または特定の機関等に属さない個人研究者。

委託研究期間 原則として1年を超えないものとします。

委託研究費 年間1件当たり原則として70万円以内(税込)とします。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円以内(税込)とします。

選考方法 審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

審査委員会

委員長 生原寺真一(福島大学 農学群食農学類長)

副委員長 小長谷有紀(独立行政法人
日本学術振興会 監事)

委員 阿久澤良造(日本獣医生命科学大学 名誉教授)

上田隆穂(学習院大学経済学部経営学科教授)

鶴川洋樹(秋田県立大学生物資源科学部
アグリビジネス科 教授)

江原絢子(東京家政学院大学 名誉教授)

大江靖雄(千葉大学大学院園芸学研究科 教授)

小川美香子(東京海洋大学学術研究院 准教授)

小林信一(日本大学生物資源科学部
動物資源科学科 教授)

前田浩史(一般社団法人Jミルク 専務理事)

南山宏之(株式会社アクサム 代表取締役
/ディレクター)

和仁皓明(西日本食文化研究会 主宰)

詳しくはWebから学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2020/>
一般社団法人 Jミルク内「乳の社会文化ネットワーク」事務局 担当：伊藤岳人 E-mail: t-ito@j-milk.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5階 TEL.03-5577-7494 FAX.03-5577-3236

